

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人和光会
施設名 ナーシングケア北方
施設の種別 介護老人福祉施設

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
1 移乗支援機器(装着型)	株式会社ジェイテクト	J-PAS fleairy
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 10 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ①入浴介助業務が中心の職員に着用:週5日9:00~11:30 13:00~15:00
②ユニット業務に従事する職員に着用:主に月4日の夜勤業務中の排泄ケアの際(同ケアが集中する時間帯)及び各勤務帯の中で随時着用使用する場面は移乗時や、入浴・排泄の抱え上げ介護の際や、ズボン着脱などの腰に負担がかかる介護を行う場面で使用した。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

2か月評価では、①の職員では「痛みを感じる時は有るが以前より軽減している。完全に腰痛が無くなったわけではないためコルセットやシップは継続している。②の職員では「業務や私生活に支障をきたすレベルの痛みはない。」「腰への負担軽減が実感できた。」と評価している。現在5ヶ月経過し、継続的使用をすることで悪化は起きていない。②の職員ではたの職員との共有も視野に現在検討中であり、達成度は30/100% 3年継続で腰痛が悪化しなければ、100%とする。

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

期間を定めて体調の変化や腰の負担軽減などのアンケートを取った。業務時間の短縮には繋がらなかったが抱え上げることによって起きる腰の痛みの軽減ができた。アンケートにあるように腰痛の軽減は10段階評価で2段階アップし、一定の負担感の軽減に繋がっている。また、職員自身が普段の介助を行う姿勢を見直すことができたとの意見があった。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・移乗、移動時に着用した時は随時訴えがある為、わずかな時間でも着脱の手間がある。かといって利用しないのに常に背負っていると軽量ではあるものの負担感を感じている。
- ・長時間装着すると背部のモーターに熱を持ち、背中が熱い
- ・アシストする力に弱、中、強とあるが個人の身体状況に合わせて変更をする場合に手間取る。
- ・膝への負担感がある。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人 山県市社会福祉協議会
施設名 デイサービスセンター やすらぎ
施設の種別 通所介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
1 移乗支援機器(装着型)	株式会社 イノフィス	マッスルスーツEvery
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 8 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・腰痛や膝痛がある職員が装着し、今まで2人介助で対応していた利用者に対して1人介助で対応可となった。(週3回程度利用の方)
- ・ベッド⇄車椅子移乗やトイレ⇄車椅子移乗を行う際に活用する。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・腰痛や膝痛でひとりでの移乗介助が難しかった職員が、マッスルスーツの使用によりひとり対応できる利用者が増加し、職員全体の身体的負担が減少した。
- ・ひとり介助が可能となったことで、他利用者の対応を行うことができる時間が増加し、午後の見守りを以前と比較し1人減で行うことができています。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・介助時の負担が減るので安心している(介護職員)
- ・介助時に腰痛が起きるのではないかと心配が減った(介護職員)
- ・動作が安定しているので安心(利用者)

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・装着に時間がかかる
- ・手順を覚えるまでが煩雑
- ・スーツ自体の重量がある

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ **2年目** ・ 3年目)

法人名 株式会社かみのくら
施設名 グループホーム彩り「ぎふ」
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
1 移乗支援機器(装着型)	株式会社イノフィス	マッスルスーツEvery
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 12 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・就寝時、起床時でのベッドと車椅子の移乗動作の介助時に使用。
- ・ベッド上での排泄支援、移動、更衣時などに活用。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

導入からご利用者9名の身体介助に活用。装着する事で身体への負担軽減の実感はある。装着に手間がかかるため、頻繁に使用するまでには至っていないが、腰の痛みがある職員は積極的に活用している。予防の為に活用する場面を増やしているところである。

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・ベッド上での排泄介助では腰への負担が軽減され、精神的にも楽になった。
- ・ご利用者の身体を支える際の負担が減った事で、二人介助で行っていたことが一人で行えるようになった。
- ・二人介助時での他ご利用者への見守りが手薄になった時の職員の精神的な負担も減っている。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・装着時、職員の体形に合わせる必要があり、手間がかかる。
- ・装着したままの移動では制限されるため、移動の都度エア抜き、使用前にエアを注入しなければならない。
- ・大きいため、使用場面の近くでの保管場所が難しい。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 合同会社道心会
施設名 喫茶去訪問介護ステーションほっつ
施設の種別 訪問介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
1 移乗支援機器(装着型)	株式会社イノフィス	マッスルスーツ Every
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 3 年 10 月 27 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・移乗介助時に使用する。
- ・ベッド上での排泄介助時に使用する。
- ・新人には入職後すぐに使用できるように、随時使い方を指導している。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・排泄介助時、中腰での身体的負担が軽減された。
- ・移乗介助時にも身体的負担の軽減が感じられ、それに伴い安定感も得られた。
- ・目標であった精神的・身体的負担の軽減は得られていると思われる。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・使用時は腰への負担軽減を感じる
- ・特に体格の小さい職員からは負担の軽減が顕著に感じられるとの事だった。
- ・おむつ交換も姿勢の安定があるため、スムーズに行うことができている。
- ・ご利用者様から安心できるとの声があった。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・脱着に手間がかかる。
- ・移動時には一旦器械を外し、再利用時には、またエア充填が必要になり煩わしさを感じる。